

CONTENTS

〈はじめに〉

歴史的背景	01
使命と目指す大学の姿	02
総長挨拶	03
歴代総長	04
沿革図	05
ノーベル賞・文化勲章等受賞者	07
学内表彰	11
学章・スクールカラー・学生歌・ロゴマーク	13

〈組織〉

運営組織	15
機構図	16
役員・主な役職者	17
総長選考会議	20
役員会	20
経営協議会	20
教育研究評議会	20
役員・職員数	21
学部	22
大学院	23
附置研究所	25
学内共同教育研究施設等	25
特定事業組織	25
原子分子材料科学高等研究機構	25
情報シナジー機構	25
東北メディカル・メガバンク機構	26
総合技術部	26
教養教育院	26
マイクロシステム融合研究開発センター	26
省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター	26
電気通信研究機構	26
材料科学共同研究センター	26
国際集積エレクトロニクス研究開発センター	26
リーディングプログラム推進機構	26
附属図書館	26
病院	27

〈学生〉

学生数	29
入学状況	30
学部卒業生数	32
学位授与者数	32
卒業後の状況	33
産業別就職者数	34
学友会	35

〈財務〉

平成24年度収入・支出予算	37
研究費等受入状況	37
土地・建物	39

〈特色ある研究・教育・社会貢献活動〉

災害復興新生研究機構	41
世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)	42
最先端研究開発支援プログラム等	42
特色ある研究	44
大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業	45
教育	46
産学官連携ポリシー	48
産学連携	48
寄附講座・寄附研究部門	49
社会との連携協力	49
東北大学校友会	51
東北大学基金	53

〈国際交流〉

学術交流協定締結等	55
研究者受入等状況	61
海外拠点	62
外国人留学生数	63
国際交流戦略の基本指針	65
国際的な大学連合への加盟	65

〈キャンパス〉

施設所在地一覧	67
建物配置図	69

■ 歴史的背景(Historical Background)

東北大学は、1907年(明治40年)に東北帝国大学として創立し、当初から、専門学校、高等師範学校の卒業生にも門戸を開き、1913年(大正2年)には、当時の政府からの圧力にも屈せず、日本の大学として初めて、3名の女子の入学を許可し、「門戸開放」が本学の不動の理念であることを世に示した。

また、創立に当たって、世界の学界でトレーニングを積んだ若き俊秀が教授として集まったこともあって、研究者が独創的な研究成果を次々と生み出しながら、それを学生に対する教育にも生かすという「研究第一主義」の精神が確立された。さらに、いち早く大学発のベンチャー企業を設立して地域産業の育成を図ったり、日常生活に最も密着した法律である家族法の研究の日本の中心になるなど、世界最先端の研究成果を社会や人々の日常生活に役立てる「実学尊重」の伝統も育んできた。

2011年3月11日に発生した東日本大震災では本学も多大な被害を受けたが、全学を挙げて教育・研究機能の回復に努めるとともに、創立以来の伝統と精神を礎に東北の復興、日本の新生に向けて取り組んでいる。